

労働政策審議会 点検評価部会

月例指標 (2011年12月概況)

景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。（「月例経済報告」11月）

このような状況の中、各指標の直近の実績については以下のとおりである。

（新規2010年度実績）

- 障害者の雇用率達成企業割合について、2010年度実績(2011年6月1日現在)は45.3%であり、2010年度目標（45%以上）を0.3ポイント上回った。

（各指標の概況）

- 就職率については、4月～10月の就職件数（分子）の累計実績が増加（前年度比0.5%増）した一方、新規求職申込件数（分母）の累計実績が減少（前年度比1.5%減）した。その結果、前年度同期に比して、0.5ポイントの上昇となった。
- 雇用保険受給者の早期再就職割合については、4月～9月の早期再就職者数（分子）の累計実績が増加（前年度比5.0%増）し、受給資格決定件数（分母）の累計実績の増加（前年度比4.2%増）を上回った結果、前年度同期に比して、0.2ポイント上昇した。
- 求人充足率については、4月～10月の充足数（分子）の累計実績が増加（前年度比0.5%増）したものの、充足数を上回る新規求人数（分母）の累計実績の増加（前年度比12.6%増）があった。その結果、前年度同期に比して、3.5ポイント低下した。

- ハローワークの職業紹介により正規雇用に結びついたフリーター等の数は、雇用情勢が厳しい中、きめ細やかな職業相談・職業紹介を行ったことにより、10月末現在で約14万人となっており、平成23年度目標（24万人）の約60%に達した。

- ハローワークにおける障害者の就職状況については、障害特性に応じたきめ細かな就労支援などにより、10月末の就職件数（34,351件）が前年同期（31,085件）を上回る実績（10.5%増）となっている。特に精神障害者の就職件数（10,652件）が前年同期比28.2%増、発達障害などのその他の障害者の就職件数（747件）が前年同期比37.3%増となっている。

- 公共職業訓練（離職者訓練）については、今年度は受講者数21.5万人、訓練修了3ヶ月後までの就職率について施設内訓練は80%、委託訓練は65%以上を目標としている。10月末現在においては、受講者数は107,360人となっており、前年度同期に比して14,918人減少した。訓練を修了した者の就職率（訓練修了3ヶ月時点）は、施設内訓練で78.5%（7月末時点）であり、前年度同期に比して0.2ポイント低下した。また、委託訓練では65.4%（6月末時点）であり、前年度同期に比して4ポイント上昇した。

- ジョブ・カード取得者について、10月末までの今年度実績は、15.1万人であり、前年度比の目標を下回った。引き続き、年間目標の達成に向けて普及促進が必要である。